

みんなの ひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



2/28 ~ 3/1 第18回春の全国ドッジボール選手権東北ブロック大会



岩手県奥州市「水沢総合体育館Zアリーナ」で「第18回春の全国ドッジボール選手権東北ブロック大会」が開かれ、東北6県から48チームが出場。草野小学校「いいたて草野ガッツ」が、福島県代表チームの1チームとして試合に臨みました。
初日の予選リーグ（4チーム1

いいたて草野ガッツ 東北大会で大健闘！



▲「いいたて草野ガッツ」のメンバー

リーグ）では、秋田県、山形県、青森県のチームとそれぞれ対戦し、2勝1引き分けて、予選リーグを1位で通過。
2日目の決勝トーナメントは、1回戦は予選リーグ1位のためシードで勝ち進み、2回戦で、岩手県代表の「末崎ドリムス」と対戦。試合は、9対8で惜しくも敗れたものの、選手らは初出場とは思えないほど、粘り強い試合展開を見せていました。

3/2 選手らが大会結果を報告



▲村長へ大会結果を報告する選手ら

大会翌日、選手らが役場を訪れ、菅野村長にスポーツ振興基金からの報償金のお礼と大会の結果報告をしました。

選手らは「予選リーグで、1位になれてうれしかった。」「決勝トーナメント戦で1点差だったのがとてもよかった。」などと感想を述べました。

控え選手も「大きな声で応援できて良かった。来年は、選手で活躍して、また東北大会へ行きたい。」と来年への意気込みを見せていました。

明るい街づくりへ

2/17

東北電力株が

街路灯を寄贈

東北電力株式会社
の竹野誠福島営業所長が、街路灯寄贈のため、村長室を訪れました。

この街路灯寄贈は、安全や防犯の面から地域社会に貢献することを目的に、同社が推進している「明るい街づくり運動」の一環として行っている

もので、今年には村に15灯が寄贈されました。

菅野村長は「大切に使用させていただきます。村としても、明るい街づくりにとめていきたい」と感謝のことばを述べました。



▲菅野村長へ目録を手渡す竹野所長（右）



明るい「県内一」

飯館村が、「県内一」という言葉は、一戸あたりの分配所得が県内一低いということ、よく議会などから厳しい質問を頂いてきたところです。

飯館村は農業の村ゆえ、そこから高い所得を得るといことは中々難しく、このような結果をもらってきたところです。現在は、最下位ではなくなりましたが、いずれ低いことに変わりはなく、村としても所得向上のため、農業・商工業振興や雇用拡大、定住対策などに、これまで以上に今年も力を入れていくつもりです。

ところで、先日、飯館村は別の「県内一」をいただきました。以前、「こころのポケット」(平成20年9月号)でも書きましたが、ここ5年間の村の女性が一生の間に産む子どもの数を表す「合計特殊出生率」が県下一になりました。

全国平均が1・31、県平均が1・52、それ

に対し、飯館村は1・85で、県内59市町村のトップということでした。

暗い話題で使われてきた「県内一」が、久しぶりに明るい話題での「県内一」になり、この上ない嬉しさを感じています。

これは、とりも直さず、飯館村の若いお母さん方の頑張り勝負ところが大きであり、またご主人やご家族のご協力も大きな要因でありましょう。

そして、商工会などを中心とした、積極的な子育て支援、さらに村の色々な支援対策なども、功をなしてきたのかもしれませんが。

しかし、今、村では赤ちゃんの出生率が落ちてきています。決して喜んでばかりいられない状況です。

ですから、さらにこの「県内一」が続くような環境づくりに、村一丸となって取り組まなければなりません。結婚対策なども村の重要な課題となってきたような気がします。

私たちの将来は、次世代がより多い社会の方が安心できる訳ですので、今後とも、子どもの産み育てやすい環境づくりに、皆さんとともに進めていきたいものです。

平成21年2月23日

飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ	親の氏名	行政区
星 妃香ちゃん	知弥・瞳	上飯樋
庄司 有希くん	栄伸・菜穂	小宮
齋藤 優愛ちゃん	匡勝・望美	関根・松塚

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	行政区
佐藤 秀義	関根・松塚
佐藤 明日香	伊丹沢

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
大槻 トヨ子	73	大倉
菅野 榮	74	須
佐藤 陸夫	86	飯樋
高山 ヨシイ	72	草野
牧野 康子	70	前田・八木
黒田 直七	85	前田
大渡 ハナイ	79	草野
菅野 貴大	11	蕨
齋藤 清通	80	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成21年2月1日現在)

人口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3119人 (+3人)	3182人
女	3131人 (+0人)	3212人
計	6250人 (+3人)	6394人
世帯数	1688戸 (-1戸)	1703戸

◆◆◆ 1月1日～31日までの人口動態 ◆◆◆			
転入	8人	転出	3人
出生	1人	死亡	3人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

▶八木沢・芦原地区の報告



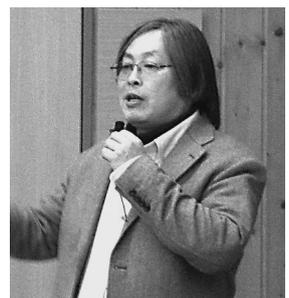
2/19

「地域ぐるみ福祉活動推進事業」
実践報告と福祉講演会開催

「顔の見える地域づくり」で成果

4年目を迎えた「地域ぐるみ福祉活動推進事業」の実践報告と福祉講演会が、いちばん館で開かれ、各地区の推進委員を中心に約70人が出席しました。

各地区では、「小地域で、地域の人たちがお互いに支えあうことで、安全・安心な地域社会づくりを進めよう」と、世代間交流や環境美化運動、ひとり暮らし高齢者の見守りや声かけ運動を取り組んでおり、今回は、前田、長泥、八木沢・芦原の各



▲「さらなる一歩を」と話す鈴木准教授

行政区推進委員からそれぞれ実践活動報告を受けました。

その後、福島大学の鈴木典夫准教授による「地域のきずなを深める福祉活動のあり方・すすめ方」と題した福祉講演会が行われました。

講演では、多くの地区

で、世代間交流を展開しており、顔の見える地域づくりが一定の成果をあげてきていることを挙げ、「今後、一歩進んで『気になる人(弱者)への見守りや声かけの日常化』や気のあった仲間に『気になる人』を加えたサロン活動を展開していったら良いのでは」と、今後の推進活動方法や取組みについて、助言をいただきました。

